

リコージャパン
和歌山支社

SDGs 取り組み

ご紹介

RICOH
imagine. change.



UDフォント（ユニバーサルデザインフォント）を採用しております。
文字のかたちがわかりやすく、読みやすく、読み間違えにくいことをコンセプトに開発されました。
文字情報を正確に伝えたい場面に効果を発揮するフォントです。
和文以外にも、151言語をカバーする欧文書体や簡体字、繁体字、ハングル、アラビア文字、
デーヴァナーガリー文字、タイ文字など、幅広く多言語にも対応しています。

Ver1.3

リコー日本の概要

- 名称 : リコー日本株式会社 (RICOH JAPAN Corporation)
創立 : 1959年5月2日
資本金 : 25億円
代表者 : 代表取締役 社長執行役員 CEO 木村 和広
売上高 : 604,132百万円 (2022年3月期)
従業員数 : 18,697名 (2022年4月1日現在)
拠点数 : 349拠点 (2022年4月1日現在)
事業所 : [本社]東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル



[支社]全都道府県に48支社を配置

全国広域
大規模企業

地域密着
地場企業

リコー日本の事業領域



価値提供領域の広がり

リコージャパン和歌山支社、2020年4月移転
～リコーグループ初の『ZEB』認証を取得した事業所にて業務開始～

■和歌山事業所コンセプト

紀のぬくもりで
和をつなぎ和（なご）む
ゼロエネルギー事業所

自然豊かな和歌山県
豊かな自然と最新の技術との調和を取りながら
お客様と共に成長し続けることを目指す
ZEB事業所です



ZEBとは？

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称
快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の
一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと



和歌山市と災害対策強化に関する協定を締結

和歌山市とリコージャパンとの協定について

協定の目的

和歌山市とリコージャパンは本協定に基づき、
互いに有する資源に基づく交流を促進し、
様々な分野で協力することにより、
地域への貢献と相互の発展に取り組んでいくことを目的とします。



2022年7月14日
和歌山市と災害対策強化に関する協定を締結

協力内容

和歌山市の要請に基づき、次の項目で災害時等に提供可能と認める範囲で
災害時等の避難者に対して提供します。

1. 対象施設*3内のスペース及び設備
2. 対象施設敷地内の駐車場
3. 対象施設で供給される電気、ガス及び水
4. 対象施設で備蓄及び調達可能な食料、飲料水及び炊出し用品等の物資
5. 災害時等に調達可能な給電車、給電車からの電力外部出力装置及び給電車への給電設備
6. その他、和歌山事業所において提供可能と認めるもの

こんなフレーズ一度は聞いた事ありませんか？

『SDGsに貢献しない事業は淘汰される』

(裏返して言えば)



『SDGsに貢献している事業は**継続**する』

(貢献している事業ってどんな事業？)



社会に受け入れられている事業

リコージャパン×SDGs

私たちの使命である「世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、生活の質の向上と持続可能な社会づくりに責任を果たす」を原点に、新しい生活様式や働き方に対応したデジタルサービスを提供することで、お客様の経営課題の解決や企業価値向上に貢献いたします。

SDGsを多くの方に知っていただく活動を通じて、地域の皆様と一緒に和歌山県内でSDGsを拡げ、日本そして世界に輪を広げていきたいと考えております。

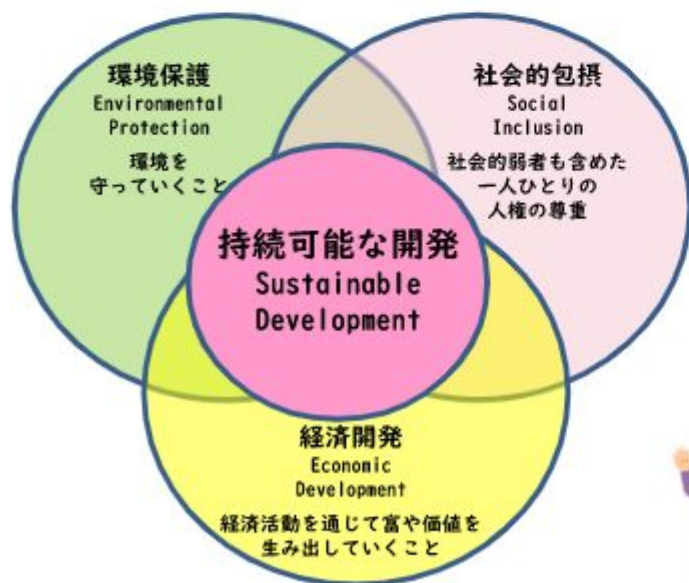


SDGsとは持続可能な開発目標、サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズの頭文字をとったもので、最後のs小文字、複数形のsで、ゴールが複数あることを表しています。
カラフルな丸いマークはカラーホイールといいます。
このマークには向きがあり、紺色と赤が上で、ピンクとオレンジが下になります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは2015年9月に国連サミットにおいて、193か国で採択されました。世界のあるべき姿を定めた世界共通のゴールで、2030年までに達成すべき**17の目標**、**169のターゲット**、**232指標**で構成されています。
また、先進国も途上国もすべての国が『持続可能な世界への変革』を目指しており、『誰一人取り残さない』というのが特徴になります。



お爺ちゃんお婆ちゃん 子育て世代 大学生も小学生
赤ちゃん 未来の赤ちゃんも

みんなが満足する世界をつくること

人：若者も、お年寄りも

地域：日本人も、世界の人

時間：現代の人、未来の人



SDGsには3つの大事な要素があります。

環境保護・社会的包摂・経済開発の3つの要素を調和して

持続可能な開発をすすめていくことが必要不可欠となっており、先の世代の事までを考えた開発が求められています。



リコーグループサステナビリティの考え方

リコーグループは、目指すべき持続可能な社会の姿を、

経済(Prosperity)

社会(People)

地球環境(Planet)

の3つのPのバランスが保たれている社会



「Three Ps Balance」として表しています。

7つのマテリアリティ

事業を通じた社会課題解決

“はたらく”の**変革**
生活の質の**向上**
脱炭素社会の**実現**
循環型社会の**実現**

経営基盤の強化

ステークホルダー**エンゲージメント**
共創イノベーション
ダイバーシティ&インクルージョン



「Three Ps Balance」を保ちながら、

この目指すべき社会の実現に向け、

「事業を通じた社会課題解決」

「経営基盤の強化」「社会貢献」の3つの活動に取り組み、

国際社会で合意された

「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に貢献していきます。

第20次中期経営計画(2020-2022年度)では、

「事業を通じた社会課題解決」と、それを支える

「経営基盤の強化」の2つの領域で、

7つのマテリアリティを特定し、

各マテリアリティに紐づく**ESG目標**を設定しています。



ステークホルダーエンゲージメント：利害関係者との規約・誓約

共創イノベーション：新しい価値、新機軸

ダイバーシティ&インクルージョン：多様性やそれらを受け入れる包摂的環境

第20次中期経営計画(2020-2022年度) ~ ESG目標 ~



我々企業団体がSDGsを取り組む背景に**ESG**という言葉があります。
Environment (環境)**Social** (社会・人権)**Governance** (企業統治)
 投資家は企業の業績だけでなく、環境や人権などの問題に、
 どれだけ取り組んでいるかを考慮し、投資をする時代になってきました。

リコージャパンは事業活動を通じてSDGs達成に貢献することを経営の中心に据え、
 財務目標に加え、将来財務としての**ESG目標**を経営指標として掲げ、
 各マテリアリティに対する評価指標(**ESG目標**)を設定し、目標と結果を開示すること
 でステークホルダーの皆様に選ばれ続けることを目指します。



マテリアリティ	リコーグループの ESG指標	2022年度目標	リコージャパンの ESG指標	2021年度目標
事業を通じた社会課題解決	“はたらく”の 変革	顧客調査トップスコア率 ^{※1}	顧客調査トップスコア率	30%
		・顧客への価値提供拡充度スクラムパッケージの導入顧客比率	顧客への価値提供拡充度 ・スクラムパッケージの導入顧客比率 ・スクラムパッケージ導入による時間創出効果	15% 6,480万時間/年
		DXによる価値提供スキル保有人材 (IPA ITSSレベル3以上数) (2020年度比)	リコージャパン独自の プロフェッショナル認定制度平均プロレベル	前年比105%
	生活の質の向上	生活基盤向上貢献人数	生活基盤向上貢献人数	200万人
脱炭素社会の 実現		GHGスコープ1、2削減率 (2015年度比)	<自社の脱炭素の取り組み> ・CO ₂ 排出削減率 (CO ₂ 排出量)	2015年度比 ▲25.7% (排出量23,500 t) 1,312 t 3,965.1 t
		GHGスコープ3削減率 (2015年度比)	<お客様の脱炭素支援> ・主要複合機導入とマングローブ植林によるCO ₂ 削減量 ・環境ソリューション提供によるCO ₂ 削減量	
		使用電力の再生可能エネルギー比率	—	
循環型社会の実現	製品の新規資源使用率	85%以下	—	—
経営基盤の強化	ステークホルダーエンゲージメント	生産拠点のRBA認証取得	6拠点	—
		サプライヤーの行動規範署名率	100% (署名完了)	—
	国際セキュリティ標準	ISO/IEC NISTに基づくセキュリティ強化完了	—	—
	各パートナーからの評価スコア	パートナーごとに設定	販売店からの評価：トップスコア率	30%
	主要ESG外部評価	トップレベル獲得	—	—
	経済産業省「デジタルトランスフォーメーション銘柄」採用	採用	経済産業省DX認定取得	認定取得
	共創イノベーション	特許のETR (他社引用) スコア増加率 (2020年度比)	20%増	—
ダイバーシティ&インクルージョン	RFGエンゲージメントスコア	50パーセント	エンゲージメントスコア	対象スコア36.5
	女性管理職比率	16.5%	女性管理職比率	(2025年度：7.5%以上)

導入実績にあわせてアジアに植林

事業を通じた社会貢献活動を目指します。

RICOH IM Cシリーズをご導入いただくことでCO2削減につながります。お客様にCO2削減効果が見える形でご提案しています。また、IM Cシリーズを販売するごとに、東南アジアでマングローブの木を植林する活動をし、地球温暖化の対策などにつなげています。

仕事の**デジタル化**をご提案させていただくことでお客様の**“はたらく”**を改革し、持続可能な経済の発展を目指します。



植林前の池の様子

植林後4年の池



後日、植樹レポートをお客様に送付することも検討



参考単価
@250円

お客様にSDGs貢献を意識して頂き、共に達成を目指す

植林活動は6つのSDGsゴールに繋がります

SDGsゴール13「気候変動に具体的な対策を」
マングローブ林は熱帯雨林を凌ぐCO2吸収量があります。

SDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」
SDGsゴール15「陸の豊かさを守ろう」

水中部分は魚介類のすみかとなり、陸上部分や葉っぱをつけた冠部分では、鳥類や哺乳類の生息域となるため、マングローブの森は「海のゆりかご」とも呼ばれます

SDGsゴール11「住み続けられるまちづくりを」
自然の防波堤としての防災効果があります。

SDGsゴール1「貧困をなくそう」
水産物が地域の住民の生活の糧になります。

SDGsゴール2「飢餓をゼロに」
他の植物（農作物を含む）が生息できない干潟に生息するので食物をはじめ他の植物との競合が起こりません。



全社員で実施中

まなびサプリ

SDG s 全般にまつわる情報データベースにいつでもどこでもアクセスでき、常に最新の情報を公開しております。

SDG s 強化月間

半期に1回SDG s 強化月間を設定しています。グループごとに関連するSDG s と社会課題解決目標を決めます。日頃お客様へご提案するサービスが何に貢献するかを社員自ら考えます。

My SDG s 宣言

年に1回社員一人一人が個人で取り組むことを決め、『MySDG s 宣言』として、デジタルメッセージボードに掲示しています。来社いただくお客様にもご覧いただいています。

和歌山事業所内で実施

17のゴールを視覚化

事務所の階段には、SDG s のゴールと、ゴールに対する自社の取り組みを記載し、シールで貼り付けを実施しています。日々通る時に必ず目に入るため、日頃からSDG s を意識することができています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 1 貧困 社員 飲料代 一部を寄付。
- 12 消費の持続可能性 エコグッズの活用！ エコバッグ、マイ水筒の持参。
- 13 気候変動 和歌山事業所 太陽光パネル、電気自動車の導入。



■SDG s バッジ
お客様先や社内でSDG s の話題が広がるきっかけづくりのため、全員が着用しています

■エコバッグ

買い物はR100でプリントアウトしたエコバッグでコンビニへ♪



■ジェンダートイレ
障がい者の方だけでなく、どなたでも使うことのできるトイレ



■防災備蓄品管理

災害に備え防災用品を保管したり、安否確認メール等防災訓練を定期的実施しています。



■KAIZENボード

だれもが通る場所に設置し、社員からの改善案を募集しています。



■サイネージ

お客様への情報発信や社員間情報伝達にデジタルサイネージを活用しています。



■デジタルメッセージボード

階段の踊り場に社員がMySDG s 宣言を記入したデジタルメッセージボードを投影しています。



パラリンアートを事業所の階段に掲示

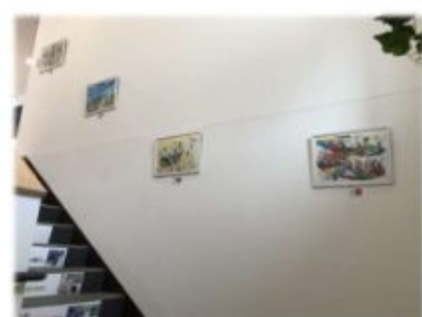
リコージャパンは「障がい者アーティストの社会参加と経済的自立」を目的とした一般社団法人障がい者自立推進機構が運営するパラリンアートの賛同し、オフィシャルパートナー(プラチナ)に参画。和歌山支社では事業者の階段に飾ってお客様に紹介。



和歌山「12.27 F173」(和歌山事業所) 作者名: KOTO
和歌山支社: 和歌山県和歌山市和歌山支社 1-5-1 (和歌山支社ビル1F)



和歌山「12.27 F173」(和歌山事業所) 作者名: KOTO
和歌山支社: 和歌山県和歌山市和歌山支社 1-5-1 (和歌山支社ビル1F)



社会貢献活動の考え方

リコーグループは、「良き企業市民」として、国または地域の文化や習慣を尊重し、志を同じくする人々とのパートナーシップのもと、会社と社員が協力し合い、地球・社会の持続的発展に貢献します。世界各国・地域における持続可能な社会実現のために、重点分野を定め、各地で活動を行います。

1. はたらく人のインクルージョン



2. 生活の質の向上 (教育・ヘルスケア・まちづくり)



3. 気候危機への対応と生物多様性保全



コピー機になってみよう！ サイエンスキャラバン出展



青少年のための科学の祭典・和歌山大会にて「リコー・サイエンスキャラバン」を出展。

和歌山県にて初めての開催。

当日はたくさんのお子様たちにコピーの原理を理解してもらい、科学を身近に感じてもらった。



世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』保全活動”道普請”（みちぶしん）



熊野古道は年間を通して雨量が多く、

台風などの災害にもたびたび見舞われる地域でもあり、道の傷みも確認されることから、登録資産を大切に保全し次代に引き継いでいくために、和歌山県では「道普請ウォーク」として、数多くの企業・団体のボランティアを募集しており、和歌山支社としても参加。



※「道普請」活動・・・参詣道の土の補充、横断溝・側溝の清掃、浮き石拾い等の古道修復作業

白良浜deひらひらTシャツアート展

【紀の国わかやま文化祭2021】の障害者交流事業として、白浜町が開催するTシャツアート展。



■支社内のSDGs-PGメンバーが考え、
■Tシャツへのプリントアウトは 出展したメッセージTシャツ
RICOH Ri 100を使用

展示するTシャツは、地元企業が製造したオーガニックコットン100%の生地
に障がいのある人が1点1点縫製した「Made in 和歌山」にこだわったもの。

わかやま商工まつりに紙アプリ『紙ダイナソー』を出展

和歌山商工会議所さま主催の”わかやま商工まつり”に参加



約850人のお子さんに紙ダイナソーを体験頂き、長蛇の列が途切れずに大盛況。
(親御さんを含めるとブースには約2,000人以上が来場)

SDGs 企業訪問 和歌山大学教育学部附属中学校×RJ和歌山支社

地元の中学校の授業の一環で、SDGsに取り組んでいる和歌山県の企業の
取り組みを調査する運びとなり、和歌山県初のZEB事業所である和歌山支社が選ばれた。

未来を担う地元中学生にSDGsの課外授業を開催



※和歌山大学教育学部附属中学校の学生が企業のSDGs取組について、
課外授業の一環でRJ和歌山事業所に来社

和歌山県上富田町役場とRJ社員が合同の「官民一体SDGsワークショップ」

地元の「人」と「企業」が一体となって、知恵とICT技術を結集。
安心・安全で暮らしやすいまちづくりに官民で取り組む。



和歌山県上富田町の皆さんとRJ和歌山支社の社員でSDGs合同研究会を実施しました。
地元職員から見た「町の魅力と課題」、外側（RJ）から見た「町の魅力と課題」について、
SDGsの考え方に従いお互いの意見交換をすることによって、
今までにはなかった刺激と気づきが生まれました。
ここから具体的な施策・事業にすることで地域に貢献したいと思います。



最新のICT技術で、河川敷に取り残された被災者に、 情報やライフジャケットを届ける訓練を実施

「AIアナウンサードローン」が撮影した被災地と災害対策本部との間で情報を共有したほか、
リコージャパンのテレビ会議・Web会議システムやリコーインタラクティブホワイトボード（電子黒板）
などのビジュアルコミュニケーション機器を利用した通信システムにより、
遠隔でありながら迅速かつ的確な指示を可能にした。



■リーフからパワームーバーを使い給電し、
IWB+PC (Meetup) を稼働させTeamsで接続
停電下でも稼働できる環境を構築（パワームーバー）



災害現場①
Meetup映像

災害現場②
iPhone映像

災害現場③
ドローン映像



■土砂災害現場（想定）では
ドローンカメラ、ノートPC (Meetup) 、
iPhoneで撮影し
災害対策本部へ逐次映像状況を提供

私たちのご提案活動

SDGs 研究会

リコージャパンと一緒に参加企業の皆さんのSDGsの取り組みの成熟度を高め、SDGs未来都市をけん引できる企業様へのお手伝いをしています。

『SDGsの自分事化』、

セミナーでじっくりSDGsの風潮や国や自治体の動きについて学んで頂き、討議ではゲームでお客様同士で仲良くなれたのもあり、

大いに盛り上がり意見の交換を頂き、またその内容を発表頂く事で、グループの中での気づきを共有いただきました。




最終成果物として、**経済・社会・環境**に分類された**SDGs取組シート**を作成いただきました。自社の取組とSDGsの関係性を可視化することで今後の目標達成に向けて活用いただきます。

～事業とSDGsの同軸化を実現～CSV (Creating Shared Value)
より良い地域社会の実現に向けて、お客様と共に社会課題を解決する

生活の質の向上
“はたらく”の変革

- ① 和歌山ViCreA×SDGsの運営
- お客様に社内実践と丸ごと見せるショールームとして事業につなげたSDGsをViCreAを通じて展開
- ② 学校・地域の格差を無くすICT技術のご提案
- 提案商品を通じた働き方改革への貢献
- ③ RICOH工場見学でイノベーション
- お客様に希望に応じた事業所見学で社内実践をご紹介

地域社会への貢献
地方創成

- ① UCS・IWB・ドローンを活用した防災訓練参加
- 「AIアナウンサードローン」とUCS、IWBをコラボした防災訓練の実施 ※地域企業のウオチアソフト社（白河町）と連携
- ② SDGs勉強会・ワークショップ研究会の開催
- 自治体と連携しての勉強会・ワークショップを実施
- 企業と共同でSDGsの知見を深める研究会を実施
- ③ 社員みんなで地域貢献活動
- フードバンク活動を支援
- 飲料代金の一部を寄付・FreeWillへ参加

脱炭素社会の実現

循環型社会の実現

- ① 全国初のZEB事業所としてRE100の体現化
- 脱炭素社会の実現
- ② 快適な職場環境と省エネを両立
- 社員満足度の向上に貢献
- ③ 会社・社員みんなでこつこつエコ活動
- エコバック、マイ水筒の持参、「遺棄品」への参加
- カゴの甲冑で部品洗浄
- ④ 事業を通じて環境へ貢献
- 機器導入実績に応じてアジアに植林



リコーグループは目的別に3つの報告書を発行しています



環境やBCP対策などに配慮した商品を販売・提案しています！

SDGs 脱炭素に向けた取り組み

2017年4月にRE100加盟

RE100

CLIMATE GROUP

CDP

100%再生可能エネルギーで
事業活動を実施する事を目標

世界全体で240社加盟

(21年1月31日© 2021 自然エネルギー100%プラットフォーム、情報引用)

■ リコーの再生可能エネルギーの使用率目標

2030年50% ⇒ 2050年100%

『ZEB (ゼブ)』 和歌山事業所

Net Zero Energy Building
(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

紀のぬくもりで

自然豊かな和歌山県 豊かな自然と最新の技術との調和を取りながら
お客様と共に成長し続けることを目指すZEB事業所です

和をつなぎ和む ゼロエネルギー事業所



災害対策室



EVパワーステーション



和歌山事業所

太陽光パネル
SmartMES



デマンドコントローラー



BEMS
スマホ連携



蓄電池



SmartMES



リコージャパンが目指す姿

省エネ・創エネ・蓄エネに関する最新の設備を持つ事業所での
実践事例をグループ内はもちろんお客様へまるごと発信する事

⇒ 事業所のZEB (ゼロ・エネルギー・ビル)化

BEMS(Building and Energy Management System)



RICOH Smart MES 『照明・空調制御システム』

人感や室内の明るさ・温度を、センサーで常時感知する事で、照明・空調を自動コントロール

明るい昼間は窓際の照明の明るさを調整

部屋の隅々まで均一な温度に調整

入室に合わせ自動点灯

人のいないエリアは照度を抑える

省エネと快適性・利便性を同時に実現するリコー最新の設備



営業時間前から空調を自動で作動させる事でお客様を適温でお迎え

誰もいない場所は照明を自動OFF空調は省エネモード



自然光を活用する設備



■採光クロス・フィルム (L2-tech導入実証事業)
自然光を効率的に取り込み居室内に拡散

②採光クロス

①採光窓フィルム



適温を維持する設備



遮熱ロールスクリーン

(L2-tech導入実証事業)

③クライマー式遮熱ロールカーテン

SDGs理解促進ツール

ひとこと多い張り紙

ひとこと多くてすみません。

でも、世界を変えるために、大切なひとことなのです。

DOWNLOAD

貼るだけ世界の共通言語に翻訳できる。無料ダウンロードはコチラから。



和歌山県下で活動するSDGsキーパーソンで、
楽しくSDGs認識を深めるため

“ひとこと多い貼り紙 和歌山弁バージョン”を作成。
SDGsの17の目標を和歌山ならではのパンチのきいた“
ひとこと多い貼り紙”ができました。

あんたが要らんのやったら、それ誰かほしいんちゃう？

捨てるん？もったいなあ
いらんのやったら
だれかにあげよし

開発途上国では、約5人にひとりが
1日1.25ドル未満で生活しています。
少しでも、自分たちが出来ることから始めましょう。
目標1：貧困をなくそう



みんなに健康になってもらおうよ

栄養の足りやんてきやら
デロにしようよ

2020年
世界では約19億人が健康に苦しんでいます。
すべての人に安全で栄養のある食料を確保しましょう。
目標2：飢餓をゼロに



未来のために性別関係なく、一歩踏みだそうや

育児休暇？ええわいしょ！
取ってかまんよ～



家事・育児はお互い協力しあいましょう
男女が支える職場環境づくりを
目標5：ジェンダー平等を実現しよう



いつにしょうに？

ライフワークバランス取り組むの
もうそろそろ真剣に考えようよ～

8
働くことに対する姿勢や環境の整備なども大切になってきます。
まずは少しの工夫から始めてみましょう。
目標8：働きがいも、経済成長も



どんな設備が見てみやなわからんで！



災害に強いインフラ
いっぺ見に来てよ！



2030年までにインフラを改良し、持続可能な発展につくり変えて
いくことが必要です。リコージャパン和歌山事業所はすでに、
クリーンで環境に配慮した技術の導入を実践しています。
目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう



クラゲが来たならこれ、レジ袋やいしょ

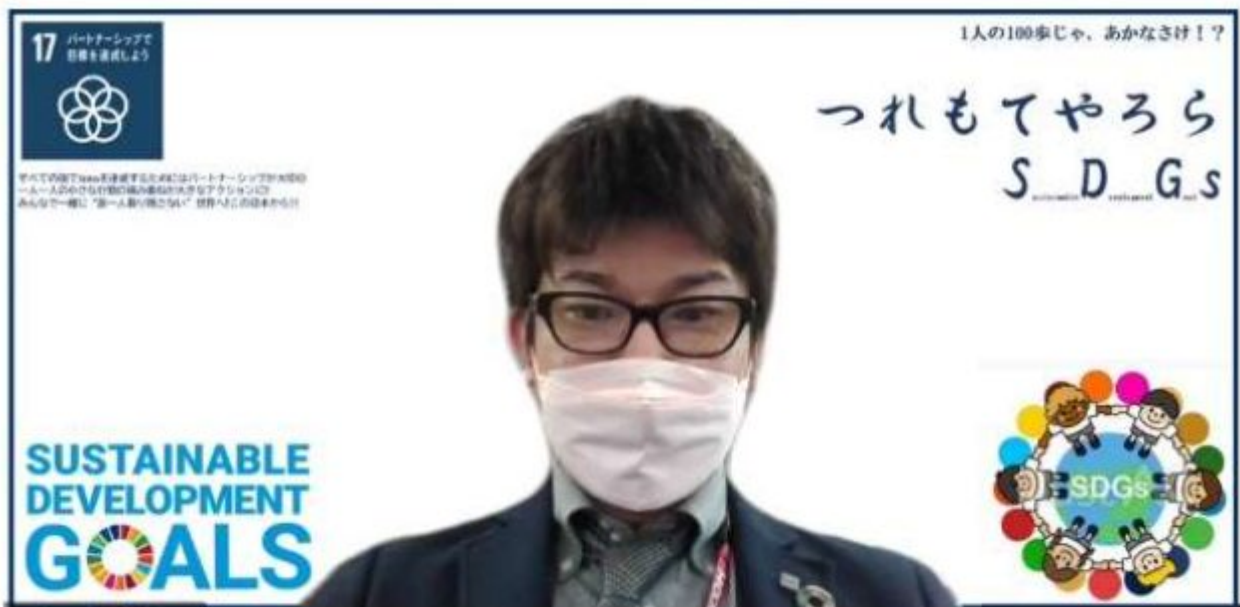


道にほかしたゴミも海に流れてんで～
ゴミを出さへん、捨てへん、ひらう
みんなでしようよ!!



すべての生命のつながり、海
このままでは、プラスチックごみが海の豊かさを減らすといわれています。
和歌山の海が笑顔みんなを守っていきましょう
目標14：海の豊かさを守ろう





現在私たちは、社内外でのオンライン会議時にこの『**ひとつこと多いSDGs ~和歌山弁~**』を背景(壁紙)にして活動してます。

壁紙データをご所望の方は、担当営業にお問い合わせください。お客様もひとつこと多いSDGsと一緒に作成してみませんか？



現在は、Teams(マイクロソフトチームス)、Zoom(ズーム)等々コロナ禍にも負けない便利なコミュニケーションツールが沢山あります。ご検討の際は是非リコージャパンへご連絡を！



リコーグループが取り組む7つのマテリアリティとSDGs :
<https://jp.ricoh.com/sustainability/materiality/>



サステナビリティレポート/SDGsコミュニケーションブック :
<https://www.ricoh.co.jp/sales/about/sustainability/report>



100-0000000000



100-0000000000



リコー日本の地方創生 :
<https://www.ricoh.co.jp/solutions/sousei/>



リコージャパン株式会社

<http://www.ricoh.co.jp>

- 和歌山事業所(和歌山支社)
■〒640-8314 和歌山県和歌山市神前155-1
■TEL:050-3814-5953
■FAX:073-476-1058
- 田辺事業所
■〒646-0026 和歌山県田辺市宝来町10-11
■TEL:0739-25-3881
■FAX:0739-25-3882
- 橋本事業所
■〒649-7205 和歌山県橋本市高野口町名倉1070
■TEL:0736-42-0570
■FAX:0736-42-0571
- 紀南事業所
■〒647-0016 和歌山県新宮市谷王子町456-1 亀屋ビル2F
■TEL:0735-22-8967
■FAX:0735-22-8996

リコージャパン和歌山支社の取組について

～連絡先～
和歌山支社SDGs-PG事務局
Zjp_info_wakayama@jp.ricoh.com

〒640-8314
和歌山県和歌山市神前155-1
TEL:050-3814-5953
FAX:073-476-1058
E-mail: hiroki_ikegami@jp.ricoh.com

担当窓口: 池上 弘起(イケガミ ヒロキ)

担当営業